

(様式第3号)

令和3年度 租税教育事業実績報告書

委嘱校名	日南市立 北郷中学校
所在地	〒889-2402 電話番号 0987-55-2014 日南市北郷町郷之原甲 50 番地
ふりがな 校長名	むらはし きょういち 村橋 恭一
ふりがな 担当教諭名	もりなが こうじ 森永 浩二
<p>1 租税教育の成果</p> <ul style="list-style-type: none">○ 税務署の担当者と連絡を密にすることによって、学校の実態に応じた内容を検討することができた。○ zoomを活用した、リモート形式の租税教室に取り組んだことで、今後のコロナ禍における租税教室の可能性が広がった。 <p>2 租税教育についての反省</p> <ul style="list-style-type: none">○ 新型コロナウイルスの感染拡大により計画通りに実施できないものも多くあったが、2回の租税教室では生徒も興味・関心をもって取り組むことができた。 <p>3 租税教育についての今後の課題</p> <ul style="list-style-type: none">○ 中学生でも実感の持ちやすい内容に構成し、グループワークで取り組みやすい教材を準備する必要がある。	

- (注) 1 6月に開催される校長・担当教諭会の資料として活用する。
2 1年間の実績をA4判、10枚程度にまとめること。
3 2部作成し、4月末日までに地区協議会会長(事務局)を経由して中央協議会会長に提出する。

(その他)

租 税 教 育 事 業 実 績		
実施年月日	事 項	内 容
R3年7月1日	租税教室の実施	日南税務署から講師1名を招き、中学2年生を対象に租税教室を行った。税務署の仕事や税の種類、役割についてグループワークを交えながら説明をして頂いた。
夏休み	租税作文の募集	中学2年生を対象に税についての作文の募集を行った。1学期最後の授業で、7月の租税教室の内容を振り返りながら「わたしたちの生活と税」を使って税について考えた。
R3年10月、11月	社会科の授業における租税教育	公民的分野「地方自治と私たち」の単元において、日南市の財政について考え、よりよい税の使い方について考えた。
R3年11月18日	租税作文表彰	夏休みに募集した税についての作文で、5名が入賞した。
R4年3月4日	租税教室の実施	日南税務署から講師2名を招き、中学3年生を対象に租税教室を行った。放送室と教室をzoomでつないで、リモート形式による授業に取り組んだ。

令和3年度租税教育実施報告

○ 本校の紹介

日南市立北郷小中学校は、中学部 95 名、小学部 153 名の全校生徒 248 名の小中一貫校である。本校の教育の特色として、日南市内でもいち早くタブレットが整備され、授業だけに留まらず生徒会活動などの様々な場面で活用が進んでいる。そこで、租税教室でもタブレットを活用した取組を行った。



○ 本校の租税教育における特色や工夫

- ・ 税を生徒の身近なものとして感じられるように授業内容を工夫する。
- ・ 本校で活用が進んでいるタブレットを租税教育（教室）でも生かす。
- ・ 税務署との連携を密にしながら、租税教育の充実をはかる。

○ 第1回租税教室

令和3年7月1日の4校時に日南税務署から講師を1名招いて、中学2年生を対象に第1回租税教室を行った。以下を工夫して授業に取り組んだ。

- ・ 税に対する知識が少ないため、税に関する基本的な知識を身につけさせる。
- ・ キャリア教育と結び付け、税務署の仕事について説明してもらう。
- ・ タブレットを活用し、充実した意見交換を行う。

授業の導入では、生徒の興味・関心を高めるために写真1のように1億円のレプリカが入ったケースを生徒に持ってもらった。生徒は想像以上の重さに驚いていた。

また、本校の中学2年生はキャリア教育の一環として、総合的な学習の時間を活用して、様々な職業や、働くことについて学習してきた。そこで、講師にお願いし、キャリア教育の一環として税務署の仕事について話をしてもらった。税の知識だけでなく、自分たちの知らない職業について知ることができ有意義な時間となった。

授業では、学校のタブレットに入っている学習支援アプリ「ロイロノート」を活用した。写真3のように自分の知っている税の名前を出し合いグループで意見をまとめた。また、写真4のようにグループでまとめた意見を共有した。

授業については講師が行い、タブレットの操作については教師が行うことで、スムーズに授業を行うことができた。



写真1 1億円のレプリカを持つ生徒



写真2 説明を聞く生徒



写真3 タブレットでグループの意見をまとめる生徒



写真4 グループでまとめた意見を全体で共有する様子。

○ 作文の募集

7月に租税教室を受けた中学2年生を対象に、夏休みに租税に関する作文を募集した。7月の租税教室の内容を生かしながら、生徒の興味・関心を高めるために、日南市に整備されたタブレットにどれくらい税金が使われているか学習した。(資料1)

文教厚生委員会の審査概要	
■日南市一般会計補正予算	
◇ICT教育環境整備事業	
小学校	【1億4644万1千円】
中学校	【6917万4千円】
GIGAスクール構想に伴う、児童生徒一人一台のタブレット整備に要する経費です。	
〈主な内訳〉	
消耗品・タブレット用タッチペン	小学校【546万円】
備品購入費・児童生徒・職員用タブレット代、設定及びアップグレード費他	中学校【254万円】
小学校	【1億4098万1千円】
中学校	【6663万4千円】
【審査内容】	
④ランニングコスト(維持費)が心配だが、いくらぐらいになる計算か。	
⑤児童生徒の自宅に通信機器がない場合、例えば800人いるとしたら約7500万円必要と試算している。学校内の金額はまだ想定していない。	

資料1 日南市「議会だより」

生徒は、自分たちの身の回りに多くの税が使われていることを知り、驚くとともに税が自分たちの生活に果たす役割について考えるきっかけとなった。

資料2 生徒の作文(一部抜粋)

私は、税は何のために納めないといけないのだろうと疑問に思っていました。

だけど、学校で租税教室が行われ税について勉強し、税金を払うことで色々な人の役に立っていることが分かりました。

例えば、今は学校で当たり前のように使っているタブレットやタッチペン、机、いす、他にも日常でよく見る道路や信号など色々なところに税金が使われています。

(中略)

今は、税金を納めるのが嫌だと思う人がいるかもしれませんが。だけど、その人も政府から公共サービスを受けていて、税金によって助けられるということもあるかもしれません。私たちが数年後には多くの税金を納めないといけなくなります。その時がきたら学んだことを思い出し、これは誰かのためになるかもしれないと考え納めたいです。

提出された作文には、資料2のように、租税教室や授業での学びを踏まえたものが多くあった。税というと、どうしてもネガティブなイメージを持ちやすいが、税とは私たちの生活に欠かせないものという認識をもってもらうことができた。また、5名の生徒が入選することができた。

タイトル	賞
私生活の税の関係と仕組み	宮崎県納税貯蓄組合連合会会長
税と暮らし	日南串間納税貯蓄組合連合会会長賞
税金との向き合い方	日南税務署長賞
税はみんなのヒーロー	日南串間地区租税教育推進協議会会長賞（銀）
税金について	日南串間地区租税教育推進協議会会長賞（銅）



写真5 表彰式の様子

○ 公民科の授業

租税教育の機会を租税教室だけにすることなく、日常の社会科の授業においても税に興味・関心をもてるようにした。中学3年生の公民的分野「地方自治」において、日南市の税金をどのように使っていくかシミュレーションさせた。議論がより活発になるように、日南市の様々なデータや市民の声をもとに考えさせた。自分たちの生まれ育った地域について考えることでより活発な議論を行うことができた。

地方自治

学習課題



★市で使える予算が100億円あります。あなたはどのようにお金を使いますか？

効率…予算を無駄なく使い、より多くの人の満足度を上げる

公正…住民の多様な利害に配慮すること

優先順位	分野	理由	金額
1			
2			
3			
4			

【教育】 30億円

古くなった学校の建て替え 全家庭に iPad と Wi-Fi ルーターの無料配布 保育所の増設 病院代無料

【農業・畜産】 30億円

新しく農業を始める人に支援金 機械購入の補助 市の土地を安く売り渡す

【観光業】 40億円

観光地の整備 宿泊施設の建設 県外からの宿泊者への補助 PR 動画の作成などの宣伝費

【商店街の振興・整備】 30億

油津商店街の整備費 地元のお店を利用した時のクーポン 飲食店への補助金

【交通網の整備】 40億

JR や宮崎交通バス、コミュニティバスの本数を増やすための補助金

【福祉体制の整備】 40億

高齢者施設の利用者に対する補助 高齢者のバス・電車代無料の補助金

【働く場所の確保】 30億

県外からの大企業の誘致費

【医療体制の整備】 35億

病院を拡充するための補助 医療券を配付 医療従事者へのお金

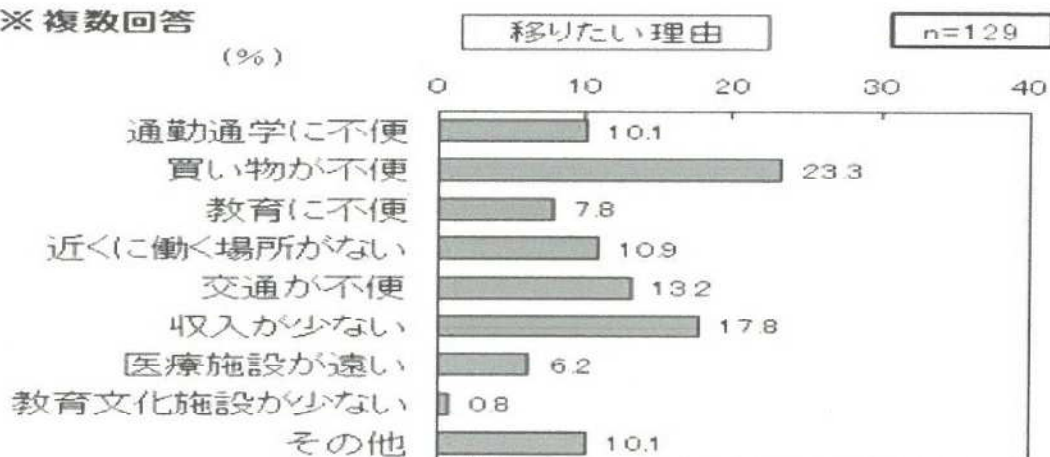
産業別就業者数

	総数	男	女	世帯
第1次	2,912	1,996	916	12.2
第2次	5,133	3,624	1,509	21.6
第3次	15,737	7,182	8,555	66.2
分類不能	176	94	82	0.7

年齢3区分別人口・割合

	総数	男	女	割合
0～14歳	6,376	3,220	3,156	11.8
15～64歳	28,766	14,270	14,496	53.2
65歳～	18,884	7,844	11,040	35.0

※複数回答



日南市から移り住みたいと考えている人の理由

○ 第2回租税教室

令和4年3月4日に中学校3年生を対象に第2回租税教室を行った。今回の租税教室では、新型コロナウイルスの感染拡大にも対応できるように、リモート形式での授業に取り組んだ。学校の放送室と教室を zoom でつなぎ、ロイロノートを活用して授業を行った。授業は以下のような流れで行った。

- ①講師自己紹介
- ②税務署の仕事の紹介
- ③動画「ご案内しますアナザーワールドへ」国税庁動画チャンネル
- ④グループワーク 「納税者になってみよう」

講師の話は zoom で行い、資料などはロイロノートを使って配信、提示することで、初めての試みではあったがスムーズに授業を進めることができた。一方で、グループワークの教材の内容を生徒が理解することが難しかったり、リモート形式だと質問がしにくかったりといった課題も見られた。



写真6 zoom で話をする様子

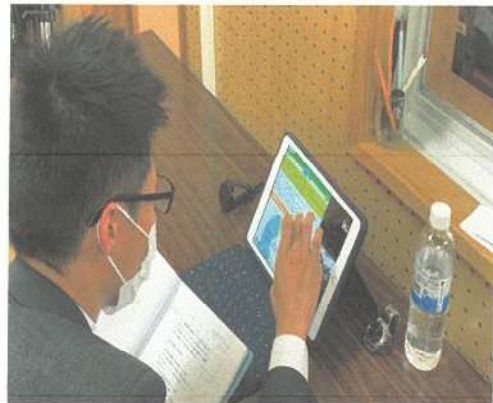


写真7 タブレット端末を操作する講師



写真8 教室で説明を聞く生徒



写真9 発表をする生徒

納税者になってみよう

(前提)

①各人の立場	②各人の収入 (所得)	③各人の願い(例)	④③の政策に 必要な予算額
高齢者のAさん	250万円	医療費負担の軽減、介護支援等 ＝高齢社会における社会保障	※6,800万円
育児中のBさん	500万円	子育て支援(児童手当、育児環境 整備)など＝少子化対策	1,600万円
フリーターのCさん	180万円	雇用創出、企業への補助金支給 など＝生活保障と経済効果	3,800万円
企業経営者のDさん	2,000万円	景気回復など＝景気の安定化	7,200万円
災害に遭われたEさん	800万円	住宅確保、インフラの復旧など ＝災害時の社会保障	5,300万円
持病をもっているFさん	350万円	医療費負担の軽減など	(※に含まれる)
介護をしているGさん	1,000万円	介護休暇制度の充実など	(※に含まれる)
合計	5,080万円	—	2億4,700万円

(課題1)

各人の立場	①各人の収入 (所得)	②納める税金	③理由	④税率 (② /①)
Aさん	250万円	万円		%
Bさん	500万円	万円		%
Cさん	180万円	万円		%
Dさん	2,000万円	万円		%
Eさん	800万円	万円		%
Fさん	350万円	万円		%
Gさん	1,000万円	万円		%
合計	5,080万円	万円	—	—

(課題2)

※使用上、収入＝課税所得（収入から差し引く経費なし）として計算

各人の立場	①各人の税率	②納める税金
Aさん	%	円
Bさん	%	円
Cさん	%	円
Dさん	%	円
Eさん	%	円
Fさん	%	円
Gさん	%	円
合計	—	円

(参考：所得税の税率)

※令和2年分

課税される所得金額	税率
195万円以下	5%
195万円超～330万円以下	10%
330万円超～695万円以下	20%
695万円超～900万円以下	23%
900万円超～1,800万円以下	33%
1,800万円超～4,000万円以下	40%
4,000万円超	45%

税額の計算例：課税される所得金額が400万円の場合

- ・ $195 \text{万円} \times 5\% = 97,500 \text{円}$
- ・ $(330 \text{万円} - 195 \text{万円}) \times 10\% = 135,000 \text{円}$
- ・ $(400 \text{万円} - 330 \text{万円}) \times 20\% = 140,000 \text{円}$
- ・ $97,500 \text{円} + 135,000 \text{円} + 140,000 \text{円} = 372,500 \text{円}$

税額は、課税所得金額ごとの税率を掛けて計算します。

○ 取組の成果

- ・ 税務署の担当者と連絡を密にすることによって、学校の実態に応じた内容を検討することができた。
- ・ タブレットを活用することで、活発な意見交換をすることができた。
- ・ zoomを活用した、リモート式の租税教室に取り組んだことで、今後のコロナ禍における租税教室の可能性が広がった。

○ 取組の課題

- ・ グループワークの内容で生徒にとって難しいものが一部あった。中学生でも実感のもちやすい内容に構成し、グループワークで取り組みやすい教材を準備する必要がある。
- ・ 租税教室の際に質問がしやすい雰囲気づくりをしていく必要がある。